

のなみ元気まつり



【野並学区】

■世帯数：5,195 世帯

■人 口：11,635 人

■面 積：2,376k㎡

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- 野並公園野球場を会場に、毎年8月に「のなみ元気まつり」を開催。2日間の延べ参加者数は約 3,000 人。
- 盆踊り大会を中心とし、和太鼓演奏やヒップホップダンスなどのステージアトラクション、27 町内会の団体・グループによる模擬店出店、小学生・中学生による作品展示など、子どもから高齢者まで皆が楽しんで参加できるよう企画する。
- 実行委員会を設置し、元気まつりの企画立案、各世帯への運営協力費の依頼、企業ごとに協賛の説明と依頼、出演団体の選定と依頼、模擬店出店は、参加者(団体・グループ)への説明と打合せを重ねながら合意を基に進める。

【住民へのPR方法】

チラシ(案内・依頼等)の回覧、小中学生の作品掲示、2日間のプログラムと協賛企業の広告をパンフレットにして学区の各世帯に配布

【アピールポイント】

地域社会の活性化と親睦融和を柱に、野並学区全体(27 町内会・小中学校・商店街・企業)が一体となり、汗を流して取り組んでいる。

2 きっかけ、背景

平成 12 年9月の東海豪雨で大きな被害を受けた野並学区の住民が、水害から丸3年が経過したのを契機に、学区民みんなで盆踊りや音楽を楽しみ、失いかけた地域の「絆」を再び築こうと、平成 15 年8月に「第1回のなみ元気まつり」を開催した。以来毎年継続開催 している。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、民生委員児童委員、保健委員、消防団員、PTA、レディース野並、子ども会、老人クラブ、スポーツ推進委員 計約 175 人

(2) 他団体との協力

野並小学校、南天白中学校、野並ソフトボール部等

(3) 運営協力

小中学生を対象にまつりのポスター作品を募集。提出者に粗品を贈呈。

4 実施のスケジュール

毎年6月～7月

- ・27 町内会へ開催通知（回覧）
- ・企業等への協賛依頼、各世帯への運営費協力依頼
- ・模擬店出店団体募集、アトラクション出演依頼
- ・小中学校へポスター作品募集について協力依頼

8月

- ・会場の設営
- ・のなみ元気まつり開催
- ・会場の撤収、片付け



5 成果と課題

(1) 成果・効果

・住民間の交流が深まり、東海豪雨で大きな被害を受け、忘れかけていた絆を取り戻すことができた。多くの人に関わることで、活動の担い手も増加している。

(2) 苦労した点

・他団体との協力体制の構築に苦労したが、まつりの主催を実行委員会とすることで、地域団体相互の協力が得られた。

(3) 今後の課題・展望

・若い世代の企画への参画が少なく、担い手の世代交代が今後の課題である。
・活動資金の確保も今後の課題である。

(4) メッセージ・アドバイス

・まつりの主催を運営メンバーで実行委員会を構成することにより、多くの団体・商店街・企業とも協働できる。